

一つの文明 (二つの世界と技術)

普遍性 — 科学文明の普遍性, 世界共通性 (2)

宗教の普遍性, 再現性 — 技術の普遍性

公理的性 — 原理の発見

物質とエネルギー — の利用

19世紀 電気の伝導の発見

電気の利用

電子の発見と利用 — 電灯の利用

人工電気

20世紀

原子力の発見

原子力の利用と悪用

核兵器

放射線の功罪

人間とは何かと... 自己認識 (科学を導き出した人間)

III. 人間の生物性と人間性

a. 生人向と生物との争い, 生物に与る生物の

利用

b. 人間の中にある生物性, 動物性

それとの争い, その制御, 平和の利用

人に問題

生物と争う(生物性) 家畜利用

軍備の問題

(武力による争い(動物)(人間性)
(同種・種間争い(人間))

暴力の生物性 — 暴力による人間性

IV. 人間の非人間化

a. オートメーション

ロボット

人工知能

人間のロボット化

人間とロボットの争い

人間のロボット化
人間の同一化

同じ情報, 流れた

マスコミ

映画, テレビ, 新聞...

b. 人間の事物

生物としての要求 対 人間としての要求

両者の調和 — 人間性・動物性からなる文化

文化 — 科学・芸術

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

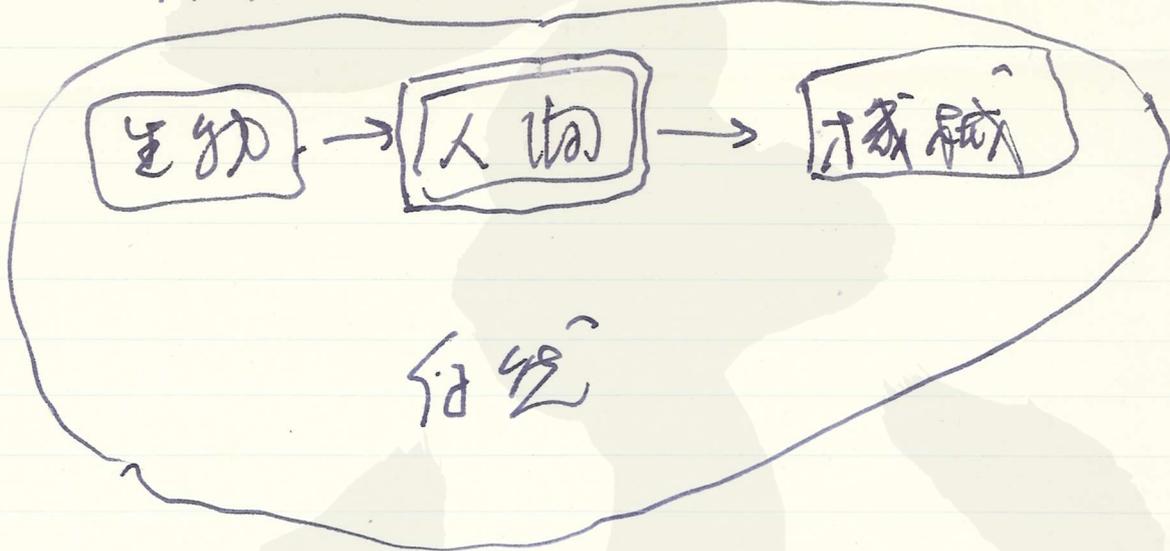
© Kodak 2007 TM: Kodak

芸術家、醫師、情報伝達者、工学 (3)
 芸術、娯楽、ゲーム、
 日本文化、美意識、自然との関係

金銭性、官能性、建設性、社会性
 人間は幸福に求めらる...

自然と人間の関係 従って人間の生活の重
 要、人間の生物性に対する連続
 という大前提の上になつていふとか
 必要である

人間は死ななかつ、働かなく
 眠らなかつ、息を止めて中々
 死ぬことがあつては可なり
 しかしそれだけでは生きては行かない



↑ 近代文明の足跡

1. テレビ、電気洗濯機 — 原子力の利用程度
2. 下水 ← 生活への利用の程度
3. 環境対策 ← 自然環境の汚染